

2 地域の主要プロジェクト(みやこ構想・「森の京都」との連携)

京都府では、府域の地域特性や資源をいかした戦略的な施策を推進する重点プロジェクトとして、「みやこ構想」や「森の京都」等3つの京都プロジェクトに取り組んでおり、京都丹波地域においては、以下に掲げる3つの構想を、この地域の主要プロジェクトとして推進しているところです。

このため、これらの構想については、京都丹波ビジョンの主要プロジェクトとしてその実現に向けて取り組んでいくこととします。

◇京都丹波「食と森の交流の都」プロジェクト【みやこ構想】

芦生原生林や里山等の豊かな自然や丹波黒大豆や京野菜、丹波くりのような京の食文化を支える高品質な農林畜産物等の豊富な地域資源を総合的にいかして、これまでの都市・農村交流の取組をさらに促進し、交流人口の拡大や京都丹波産農林畜産物の生産・販売拡大による地域の活性化をめざします。

◇新京都伝統工芸ビレッジプロジェクト【みやこ構想】

民間の活力をいかし、平成24年4月に開学した京都美術工芸大学や京都新光悦村に立地する企業等の産学連携等を進め、京都丹波地域に、人づくりからものづくりまでを担う伝統工芸の新しい拠点を形成します。

◇「森の京都」づくり

我々の生命を育む源でもある「森」をテーマにし、森・川・里の織りなす景観や環境・文化・生活を多面的な角度からとらえ未来に受け継ぐとともに、発信し、多角的に活かす地域となることをめざします。